




糖尿病で怖いのは合併症です。特に三大合併症の「神経障害」「網膜症」「腎症」。これらの頭文字「し・め(目)・じ」に注意が必要です。放置すると約五年で神経障害、七〜十年で網膜症、十〜十五年で腎症の併発が増えます。

神経障害は、手足の先に痛みやしびれといった症状が現れます。両側に起こるのが特徴です。足裏に紙を張ったような違和感を訴える人もいます。網膜症は、中途失明原因の第二位です(第一

⑰ 3大合併症(糖尿病内科)



合併症への注意を呼びかける看護師による指導一名
古屋市中区の中日病院で

 中日病院 名古屋市中
区丸の内3の12の3。☎
中日病院=052 (961) 2491

位は緑内障)。初期の網膜症では自覚症状がほとんどなく、症状が現れるのはかなり進行した段階です。腎症が進み末期腎不全に陥ると、生命維持に人工透析が不可欠になります。

動脈硬化疾患併発の可能性も高まり、心筋梗塞のリスクは二〜三倍。大きな血管障害の合併症は頭文字「え(壊疽)足な(脳梗塞)・き(狭心症)」

免疫機能が弱まり歯周病も起きやすくなります。歯がぐらつき歯茎が傷むと進行しやすくなるので早めに歯科へ。喫煙は論外。やめられない時は禁煙外来を利用してください。早い受診が大事です。治療が始まればスムーズに回復することもあります。血糖値(血液に含まれるブドウ糖の量)、ヘモグロビンA1c(血糖の一〜二カ月の平均値)の値が高いと言われたら、合併症のチェックをしましょう。

(関谷佳代糖尿病内科部長・談)

早めに受診 チェックを